

たばこによる火災に注意しましょう！

たばこによる火災は、毎年、全国でも出火原因の上位を占めています。当管内も例外ではありません。

発生要因は様々で、たばこのポイ捨てや寝たばこ、たばこの火が完全に消えたと思い、火種の残る吸殻をごみ箱に捨てて火災になった例があります。

たばこを吸う時や捨てる時は十分に注意し、絶対にポイ捨てしないなど喫煙マナーを守るよう心掛けましょう。

たばこ火災の特徴は？

火の点いたたばこの温度は、中心部分で約800℃にも達します。

しかし、たばこの火種は極めて小さいため、紙や布などの可燃物に触れてもすぐに炎が上がることはありません。

じわじわと炎を上げずに燃焼を継続（無炎燃焼）し長時間経過したのちに発炎に至るのがたばこ火災の特徴です。

可燃物や天候などの条件によって10数分で発炎する場合もあれば、過去の実験では、座布団や衣類などにたばこを置いて10時間以上経過してから燃え上がった例もあります。



たばこ火災を防ぐには？

生活の中には、たばこの火で簡単に着火する布団や衣類、紙などが至る所にあり、喫煙者がいるところであれば、どこでも火災になる可能性が潜んでいます。

たばこ火災を防ぐため次の点を心がけましょう。

○ ポイ捨てをしない！

当管内では、今年に入り7件（2月末現在）の火災が発生し、うち3件が「たばこの投げ捨て」が原因で発生しております。

何気なく捨てた「たばこ」が大火災を引き起こす可能性があります。

たばこのポイ捨ては、絶対にしないでください。



○ 灰皿に吸殻を溜めない！

灰皿にたばこの吸殻が山盛りになっていませんか？

消したつもりでも、消えていなかったたばこの火が、溜まった吸殻に燃え移り、火災に至ることがあります。

ガラス製の灰皿の場合、熱伝導でガラスが割れ、火種が飛び散る危険性もあります。

灰皿に溜まった吸殻は、定期的に捨てましょう。

捨てる際には水を掛け、完全に消えたことを確認してから捨ててください。

また、灰皿に水を溜めておくことも良いですね。



○ 吸殻をゴミ箱に捨てない！

吸殻を直接ゴミ箱に捨てたり、灰皿に溜まった吸殻を完全に消えているか確認せずにゴミ箱に捨ててしまうと・・・消えていなかった火がゴミ箱内で燻り、その後出火し、周囲に延焼拡大してしまう可能性があります。

吸殻を、そのままゴミ箱に捨てるのは絶対にやめましょう。



○ 寝たばこをしない！

飲酒後や睡眠薬の服用後に喫煙し、寝込んでしまったため、火災になっても気付くのが遅れ、一酸化炭素中毒などでお亡くなりになるケースがあります。

寝たばこは、とても危険です。

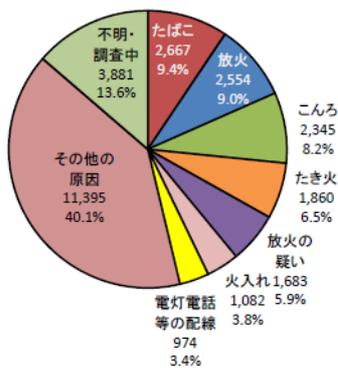
寝たばこは絶対にやめ、している人を見かけたら注意しましょう。

また、万が一に備えて、就寝中でも火災の発生をいち早く覚知できるよう、寝室に住宅用火災警報器を設置しましょう。



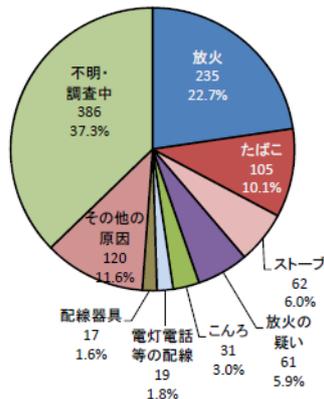
全国の平成28年（1月～9月）における火災の状況（概数）

出火原因
全火災28,441件の内訳



全火災の出火原因別死者
1,036人の内訳

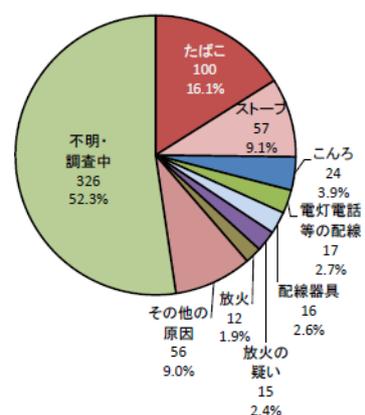
※死者の発生した建物用途による。



住宅火災の出火原因別死者数
(放火自殺者等を除く。)

623人の内訳

※死者の発生した建物用途による。



組合管内のたばこが原因の火災事例（平成28年～平成29年2月）

発生年月	火災の概要	種別
平成28年 2月	火種の残ったたばこの吸殻を、たばこの吸殻入れとして利用していたポリバケツ内に捨てたため、たばこの吸殻や空き箱に着火し、周囲へ延焼拡大した。	建物火災
平成28年 6月	車室で吸ったたばこの吸殻を完全消火せずに、吸殻で溢れている備え付け灰皿に入れたため、こぼれたタバコがカーペットに着火し延焼拡大した。	車両火災
平成28年 11月	対向車の運転手が投げ捨てたたばこの吸殻が、トラックの荷台に入り積載していたダンボールに着火、延焼した。	車両火災
平成28年 12月	玄関前に置かれた植木鉢をたばこの吸殻入れとして使用したため、時間の経過とともに、たばこの吸殻や植木に着火し、延焼拡大した。	その他の火災
平成28年 12月	たばこの火種を消火せずに就寝し、たばこがカーペットに落下したため、無炎燃焼を継続した後布団類に着火し時間の経過とともに延焼拡大した。（推定）	建物火災
平成29年 1月	投げ捨てられたたばこの火種が道路法面の枯草落葉に着火し、延焼拡大した。（推定）	林野火災
平成29年 2月	投げ捨てられたたばこの火種が山林内の立木及び枯草に着火し、延焼拡大した。	林野火災
平成29年 2月	たばこの吸殻を完全消火せずに、吸殻の溜まったガラス製の灰皿に入れたため、灰皿が割れ火種が拡散し、周囲へ延焼拡大した。	建物火災
平成29年 2月	投げ捨てられたたばこの火種が空地内の枯草に着火し、延焼拡大した。（推定）	その他の火災

たばこ火災注意喚起活動

一般社団法人日本たばこ協会では、2011年度より全国消防長会・消防庁と協働して『寝たばこ防止』に関するたばこ火災注意喚起活動を全国で実施しております。



©高橋留美子/小学館